

HOT NEWS OF JAPANESE NUTRITION/HEALTH INDUSTRY**May8-31, 2009**

森永乳業が、乳幼児用粉ミルク製品のリニューアルに伴い、アラキドン酸(AA)を新たに配合する。日本以外の国々では乳幼児粉ミルクに DHA と共に AA が配合される事は珍しくないが、日本では森永乳業が初めての製品への使用である。日本での利用が遅れていたのは、グローバルな特許競争や技術競争が背景にある。

DHA や AA 等の PUFA(多価不飽和脂肪酸)の研究開発は欧米企業を中心に活発である。PUFA に関する特許取得数は、Martek 社 44 件、サントリー32 件、Ross/Abbott 社 25 件、Unilever 社 25 件、DSM 社 11 件(2004 年 3 月現在)であり、Martek 社や DSM 社など原料企業のみならず Ross/Abbott 社や Unilever 社などブランド企業自身でも特許取得している(サントリーは両方の立場を有すると思われる)。AA の原料プレーヤーは、Martek 社、サントリー、DSM の 3 社に限定されているが、Martek 社はグローバルな粉ミルクメーカー8 社(Mead Johnson Nutritionals 社、Wyeth 社、Abbott 社、Maabarot Products 社、Heinz Wattie's 社、Novartis 社、Nutricia N.V.社、など)にライセンスをおこなっており、圧倒的な支配力を持ってきた。一方、Nestlé 社は Martek 社の技術や原料に依存せず、独自の研究を進めてきている。

DHA も AA も、欧米と日本とでは普及プロセスが異なる点が面白い。欧米では AA は乳幼児用粉ミルクでの使用がほとんどであるのに対し、日本ではサプリメントであるサントリー『アラビタ』は明らかに高齢者をターゲットとして販売されている。一方 DHA は、欧米では心疾患予防(ハートヘルス)訴求での利用が先行し、最近の新しい知見を基に子供向け製品(脳機能活性化)への利用が進み、市場が活性化している。日本は、脳機能活性化を訴求した製品が普及し(子供、高齢者)、比較的最近になり生活習慣病予防訴求の製品への利用が増加してきた。

DHA/EPA 含有魚油の数量ベース市場規模は、北米 3,200t、ヨーロッパ 3,100t に対し日本はわずか 900t に過ぎない(2003 年推定値)。DHA に関する特許取得数(2004 年 3 月時点)は、北米 72 件、中国 51 件、EU33 件、日本 22 件であり、欧米での市場活性化の動きが見て取れる。中国の 51 件も大変興味深い。

国内の PUFA 市場を考える際においてさえ、グローバルな視点なくして戦略立案は不可能である。

NEW PRODUCTS**クラシエフーズ、アロエの葉肉をそのままアイスにした「潤うアロエ」を発売**

クラシエフーズは、化粧品、健康、美容食品などの分野で広く利用されているアロエをアイスの新素材として採用、アロエ葉肉を瞬間冷凍することで素材をそのまま活かした「潤うアロエ」(税込 189 円 / 40g)を 5 月 11 日より、全国のコンビニエンスストアで発売する。20~30 代の美容意識の高い女性を対象にしており、38kcal と低カロリーであるため、夜遅くのデザートまた朝の食シーンとして最適の商品であるとしている。



(2009 年 5 月 8 日 クラシエフーズ株式会社 プレスリリース)

ヤクルト、カロリー・甘さを抑えた乳酸菌飲料「ヤクルト カロリーハーフ」を発売

株式会社ヤクルト本社では、カロリー、甘さを抑えた「ヤクルト カロリーハーフ」を6月から全国で新発売する。「ヤクルト」は1935年の発売以来、74年にわたり乳製品乳酸菌飲料のトップブランド。近年の健康志向の高まりを背景に「カロリー摂取量」「甘さ」に対する消費者の関心が高いことから、今回カロリー、甘さをそれぞれ50%抑えた「ヤクルト カロリーハーフ」を開発した。税込価格175円/5本パックで販売する。



(2009年5月8日 ヤクルト本社 プレスリリース)

森永乳業、「アラキドン酸」配合の乳幼児用ミルク「森永ドライミルク はぐくみ」など3品を発売

森永乳業では、「森永ドライミルク はぐくみ」(2,600円/850g)と「森永ペプチドミルクE赤ちゃん」(2,980円/820g)「森永フォローアップミルク チルミル」(2,100円/850g)に母乳に含まれ発育に重要な成分「アラキドン酸(ARA)」を新配合し、5月下旬より順次全国でリニューアル発売する。欧米を初めとした世界各国では、アラキドン酸配合の育児用ミルクは発売されているが、日本ではまだ認知が低く、今回が日本で初の「アラキドン酸」新配合の乳幼児用ミルクとなる。日本人の母乳の割合に近づけるべく、DHAを2に対しARAは1の割合で配合(DHA=70mg/100g、アラキドン酸=35mg/100g)している。



(2009年5月11日 森永乳業株式会社 プレスリリース)

キッコーマン、乳酸菌入り野菜飲料「デルモンテ ラクベジ 野菜と乳酸菌」など2品を発売

キッコーマン株式会社は、5月11日より植物性乳酸菌を使った乳酸菌入り野菜飲料「デルモンテ ラクベジ 野菜と乳酸菌」および「デルモンテ ラクベジ 野菜と乳酸菌すっきりピーチ」の200ml紙パック入りを全国で新発売する。「デルモンテ ラクベジ 野菜と乳酸菌」は、原料に野菜(トマトを中心にほうれん草、赤ピーマン)を植物性乳酸菌で醗酵させた乳酸醗酵野菜汁と、にんじん、レモン、トマト、りんご、バナナ、マンゴー、パインアップルなどを使用した乳酸菌入り野菜飲料。野菜汁は50%、果汁は5%で1本(200ml)に野菜100g分を使用している。両品とも、コップ1杯(200ml)あたりに植物性乳酸菌100億個を加熱殺菌して配合、希望小売価格100円/本となっている。



(2009年5月11日 キッコーマン株式会社 プレスリリース)

ヤクルト、苦味のない飲みやすい風味に改良した健康茶飲料「フコイダン茶」を発売

株式会社ヤクルト本社では、健康茶飲料「フコイダン茶」(200ml)を6月1日より全国でリニューアル発売する。同品は、沖縄モズク抽出成分「フコイダン」を配合した健康茶飲料「いたわり茶」として2003年に発売、2005年4月には、フコイダンの素材感や機能性を訴求するために薬効感の強い風味に改良、ネーミングも「フコイダン茶」に変更した。今回のリニューアルで、苦味のない飲みやすい風味に改良し、清涼感を持たせたデザインに



パッケージも変更した。フコイダンの含有量は、80mg / 本と変更はない。100 円 / 本 (税別) で販売される。

(2009 年 5 月 12 日 株式会社 ヤクルト本社)

JFLA 子会社、ハイピース「ノンカフェイン 黒豆茶」を発売

ジャパン・フード&リカー・アライアンス株式会社の事業子会社で清涼飲料水メーカーの株式会社ハイピースの新商品として、7種類の素材をブレンドした「ノンカフェイン 黒豆茶」(税込 147 円 / 500ml)を 5 月 18 日より関東エリアのコンビニエンスストアで、6 月 29 日より全国量販店で発売開始する。同品は、北海道産の黒豆をベースに 6 種類の素材<大豆茶、玄米茶、ハトムギ茶、ルイボス茶、ハブ茶、ドクダミ茶>の 7 種類の素材を越前の自然水で抽出したノンカフェインのお茶。女性を中心にカフェイン摂取を控えたい健康意識の高い人をターゲットにしている。



(2009 年 5 月 13 日 ジャパン・フード&リカー・アライアンス株式会社 プレスリリース)

ヤクルト、宅配専用の健康食品「サブリズム グルコサミン」を発売

株式会社ヤクルト本社では、宅配専用の健康食品「サブリズム」のシリーズ品として、「サブリズム グルコサミン」(税込 2,000 円 / 200 粒)を 5 月 18 日から全国の宅配チャネルで新発売する。「サブリズム」は、ヤクルトの宅配チャネル専用製造する健康食品。現在中高年の消費者向けに全 5 アイテム(PS、フコイダン、マルチビタミン、カルシウム、鉄)をラインアップしている。「サブリズム グルコサミン」は、エビ・カニ由来でないものを使用、アレルギーの心配なく摂取できるグルコサミンであるとしている。グルコサミンは、1 日目分量 10 粒あたり、1,500mg を配合、コンドロイチン、低分子ヒアルロン酸も併せて配合している。



(2009 年 5 月 15 日 株式会社 ヤクルト本社 プレスリリース)

明治製菓、プロテイン入りスポーツ飲料「ザバス アクア プロテインウォーター」を発売

明治製菓株式会社は、「ザバス」ブランドからプロテイン入り機能性スポーツ飲料「ザバス アクア プロテイン ウォーター」を株式会社ポッカコーポレーションの販売網を活用し、5 月 25 日より全国で発売する。プロテインも一緒に取れる機能性飲料として、スポーツを楽しみたい人への水分補給の新しい形を提案し、ザバスブランドのさらなる拡大を図る方針としている。150 円 / 500ml で販売される。



(2009 年 5 月 18 日 明治製菓株式会社 プレスリリース)

キリンバレッジ、スポーツ前の水分補給を重視した「KIRIN LOVES SPORTS」を発売

キリンバレッジ株式会社は、「スポーツを愛するすべての人を応援する」をコンセプトにスポーツ前からの水分補給を提案するドリンク「KIRIN LOVES SPORTS(キリン ラブズ スポーツ)」を 5 月 26 日より全国で新発売する。今回新発売する「KIRIN LOVES SPORTS」は、グループ会社の協和発酵バイオが開発したアルギニンとシトルリンの配合バランスを採用し、商品を共同開発した。また、必須アミノ酸であるナト



リウム、カリウムを配合し、運動で失われるミネラルを補給するドリンクとなっている。555ml ペットボトル入り 124 円(税抜き)で販売される。

(2009 年 5 月 18 日 キリンビバレッジ株式会社 プレスリリース)

ヤクルト、ダツタンそばの実 100%使用の健康茶飲料「ルチンそば茶」を発売

株式会社ヤクルト本社は、健康茶飲料「ルチンそば茶」を 6 月 1 日から全国で新発売する。そば茶は、歴史が古く、蕎麦屋等で飲用する機会があり、香ばしさや飲みやすさから一般的な無糖茶飲料として知られるものの、自宅やアウトドアで飲用する機会は少ない。しかし、最近では抗酸化作用を有するルチンが多く含まれていることが知られるようになり、そば茶も健康茶飲料として注目を集めている。今回新発売する「ルチンそば茶」は、ルチンが甘そばの約 100 倍ふくまれているダツタンそばの実を 100%使用し、ルチンが 1 個あたり 100g 含まれている健康茶飲料となっている。200ml 入り 100 円(税別)で販売される。

(2009 年 5 月 19 日 株式会社 ヤクルト本社 プレスリリース)



永谷園、生姜を使った健康サポート飲料「燃える生姜！生姜黒酢・生姜大豆」を発売

株式会社永谷園では、生姜を使った健康サポート飲料「燃える生姜！生姜黒酢」「燃える生姜！生姜大豆！」(税込 118 円)を 6 月 8 日より関東エリアの量販店、コンビニエンスストアで発売する。同社では、契約農場での生姜の栽培や生姜の研究、129 本におよぶ生姜レシピの調理などに取り組んでおり、同商品は、同社「生姜部」ができて以降初めての商品となる。

(2009 年 5 月 21 日 株式会社 永谷園 プレスリリース)



カゴメ、スッキリとしたキレ味の「野菜生活 100Refresh！レモン&パッションフルーツ」を発売

カゴメ株式会社は、「野菜生活 100Refresh！レモン&パッションフルーツ」350ml を 7 月 7 日より、777gPET ボトルを 7 月 14 日より全国で発売する。1 月発売の「野菜生活 100Refresh！」シリーズは、カゴメ独自の「クリアブレンド製法」で実現した、これまでの野菜ジュースとは違うゴクゴク飲める飲み心地の製品となっているが、今回は、夏に適したさわやかさを味わえるよう黄ニンジンを中心にレモンとパッションフルーツを使用した。350ml 入り、147 円、777g ペットボトル入り 325 円(いずれも税込み)で販売される。

(2009 年 5 月 21 日 カゴメ株式会社 プレスリリース)



ヴィーヴォ株式会社、アサイベリーにプラセンタをプラスした飲む美容液「アサブラジュレ」を新発売

ヴィーヴォ株式会社は、6 月 1 日より内面美容に着目した飲む美容液、「アサブラジュレ」を発売する。30 代以上の女性をターゲットにストレス起因の疲れ、ホルモンバランスの不調による体内リズムの乱れなどが原因で発生する活性酸素から肌を守る商品であるとしている。同品は、ソムリエに評価を受けるなど味にも拘っており、低分子の W コラーゲン、アマゾン産のスーパーフルーツ アサイベリー、女性特有



のトラブルをサポートするプラセンタ、整腸作用のあるイソマルトオリゴ糖を配合している。8,400 円(30ml ×7 本入り、税別)で販売される。

(2009 年 5 月 ヴィーヴォ株式会社 プレスリリース)

扶桑化学工業、国内大学との共同開発によるサプリメント 5 品目を新発売

世界唯一の果実酸総合メーカー、扶桑化学工業株式会社は、「果実酸パワー」(順天堂大学との共同研究)「持続型ビタミン C500 &クエン酸」(同 岡山大学)「グルコサミン 1500 &コンドロイチン」(同 岡山医科大学)「与那国長命草」(同 岡山医科大学)「石垣島のウコン」(同 岡山医科大学)のサプリメント 5 品目を 5 月 11 日より発売する。同サプリメントは、素材メーカーとしての強みをいかし、日本各地の機能性素材を調査、研究し、ポリフェノールやミネラルが豊富に含まれる与那国長命草、クルクミン含有量の多い石垣島のウコン等の地域の産品を活用した商品として上市している。同社では、今後も 扶桑素材、 地域産品 共同開発をキーワードにこだわりのある商品を開発していく。販売価格は、すべて税込で、「果実酸パワー」は3,150 円、「与那国長命草」は、5,250 円、その他 3 サプリメントは 3,675 円で販売される。



(2009 年 5 月 扶桑化学工業 プレスリリース)

キリンビバレッジ、特定保健用食品「キリン 午後の紅茶 ストレートプラス」を発売

キリンビバレッジ株式会社は、紅茶飲料のトップブランド「キリン 午後の紅茶」から初めての特定保健用食品「キリン 午後の紅茶 ストレートプラス」を 6 月 2 日に全国で新発売する。同品は、食事と一緒に飲むと、植物由来の食物繊維「難消化性デキストリン」が糖の吸収をおだやかにし、食後の血糖値の上昇を抑える効果が認められた特定保健用食品。350ml 入り 160 円で販売される。



(2009 年 5 月 25 日 キリンビバレッジ株式会社 プレスリリース)

サントリー食品、おいしく手軽に飲める黒酢飲料「黒酢力」を発売

サントリー食品は、「黒酢力」を 6 月 23 日から全国で新発売する。同品はスプーン 1 杯分の黒酢(15ml)と天然クエン酸を配合している。350ml 入り 140 円(税別)で販売される。



(2009 年 5 月 26 日 サントリー食品株式会社 プレスリリース)

DHC、ミネラルウォーター「生命のバランス DHC 海洋深層水」を販売

株式会社 DHC は、海のミネラルバランスをそのまま含有した細胞に良い水「生命のバランス - DHC 海洋深層水」を 6 月 10 日より同社の通販サイト、DHC 直営店にて発売する。同品の原水は、清浄性、栄養性に富んだ伊豆赤沢沖の日本最深 800m の水深から汲み上げた海洋深層水。DHC は、民間企業としては唯一取水からボトリングまで一貫して行っている。同品に含有されているカリウム、カルシウム、マグネシウム、ナトリウムの比率は原水における 100%ナチュラルな存在比率と同じものとなっている。同品は、硬度 32 の軟水。日常生活、ス



ポーツの飲料用として、また、サプリメント摂取時などに飲む水として様々なシーンで使用できる製品となっている。24本入り(500ml/本)で、2,880円で販売される。

(2009年5月26日 株式会社DHC プレスリリース)

COMPANY NEWS

医薬品ネット販売規制は、営業権を侵害するとして、ケンコーコムなど2社が国を提訴

ケンコーコムとウェルネットの2社は、25日医薬品のネット販売規制を定めた厚生労働省令に対して医薬品ネット販売を行う権利の確認、および症例の無効確認または取り消しを求める行政訴訟を提起したことを発表した。同社は「検討会も終了し、パブリックコメントも終わり、われわれがこの省令を止める手段は行政訴訟を起こすしか残っていない。」とコメントし、医薬品ネット販売の継続を訴えている。今回の訴訟は6月1日に改正薬事法が完全施行されることに伴い、厚生労働省が2月6日に公布した省令に対して医薬品ネット販売を手掛けるケンコーコムとウェルネットが省令の取り消しを求めて提起したもの。改正薬事法では、一般医薬品をリスクの高い順に分類し、それぞれのリスクに応じた販売方法や購入者への説明方法などをとることとされており、「購入者への説明は対面で行う」を原則としている。そのため、ネット販売などの通販では、販売できる医薬品は最もリスクの低い「第3類」の医薬品に限るとされた。ケンコーコムでは、「憲法で保証されている『営業の自由』を侵害されていること、厚生労働省が法律には『第3類以外のネット販売を禁止する』との記載はなく、法律に書かれていない重大なルールを厚生労働省が勝手につくことは法治国家とは言えない」と語り、今回の省令は憲法違反であると訴えた。ケンコーコムとウェルネットは、省令について国を相手どり、1)6月1日の省令施行後も「第1類」「第2類」医薬品ネット販売を継続する権利があることを確認する訴え、2)ネット販売を禁止する部分の省令が無効であることを確認する訴え、3)ネット販売を禁止する部分の省令の取り消しを求める訴えの3点を求めている。

(2009年5月25日 ケンコーコム プレスリリース)

ファンケル、09年3月決算、売上高は微減

ファンケルが、5月1日に発表した09年3月決算は、売上高が前期比1.4%減の980億400万円であった。健康食品の売上高は290億8,800万円の前年比3.1%減。美容系のサプリメント売上高は堅調であったが、それ以外の製品群は前年割れとなった。発芽玄米や青汁も減少傾向となっている。同社では、4月から健康食品のカテゴリーを見直しており、顧客にとって商品の用途や目的をわかりやすくするために、「ビューティー」「ダイエット」「生活習慣」など健康食品の目的別に再編する作業をすすめている。

(2009年5月 ファンケルHP)

MARKET NEWS

AIFN(国際栄養食品協会)新体制と新戦略について

国際的な健康補助食品の業界団体であるAIFN(国際栄養食品協会 呼称:アイファン)は、5月27日に開催された年次総会にて、新たな国際的活動を視野に入れた協会名の変更(旧:NNFAジャパン<日

本栄養食品協会 > 10周年を記念して組織名を変更)および新会長にNPA(米国自然食品協会)/US CRN(米国栄養評議会)理事、John Venardos(ジョン・ベナード)氏の選任を行った。それに伴い、新たな戦略として「健康経済理論(ヘルスGDP)*」の提唱と米国業界団体と連携したスタディを推進、サプリメントの経済効果の算定を行うことでより一層のサプリメントの普及活動を推進する。また同協会は、健康補助食品(サプリメント等)の統合医療分野への普及促進のため、日本統合医療学会との協力体制を推進し、医療、介護分野での健康補助食品の普及、啓蒙に寄与していく。

* ヘルス GDPとは、AIFNが提唱する新しい考えで、GDPから医療費の支出など病気による損失を引いたもの。「ヘルス GDP」を高めるには、医療費の削減は不可欠で、サプリメントなどの健康補助食品を利用することは病気になりにくくする手段の1つという考えから、米国では、ルーウェン研究というものがあるが既に行われており、新たな薬事政策理論として世界的に注目されている。

(2009年5月28日 AIFN プレスリリース)

SCIENCE NEWS

日本ハム、ニワトリの足から血圧効果、血管保全作用を有する新コラーゲン開発

日本ハム中央研究所は、ニワトリの足から血圧降下、血管保全作用を有する新しいコラーゲンを開発、ヒトを対象とした臨床試験で初めてその効果を確認した。同研究所では、独自の製法によって機能性食品素材「CCOP(Chicken Collagen Octa Peptides)」を開発した。この低分子コラーゲン「CCOP」は、ニワトリを原料に作られており、同社独自に開発した低分子コラーゲンペプチド。これまで、コラーゲンの肌や骨の健康に関する研究は行われてきたが、今回は新たな血圧に対する機能を見出した。今回の試験は、血圧が高めの成人120名に対し、「CCOP」を配合した乳酸菌飲料を摂取する群とプラセボ群の2群に対し行った。プラセボ群に比べて「CCOP」の摂取で継続的な降圧作用が発揮され、血圧の有意な低下が確認された。また、摂取期間(12週間)を通じて血管が柔軟性に保たれていることが確認された。同研究は、5月20~22日に行われた第63回日本栄養、食糧学会にて発表された。

(2009年5月13日 日本ハム株式会社 プレスリリース)

キッコーマンなど、「植物性乳酸菌 Th221 株」に「メカブフコイダン」を加えると免疫調整作用増強を確認

キッコーマン株式会社は、理研ビタミン株式会社との共同研究で、しょうゆ諸味から分離した抗アレルギー作用を有する「植物性乳酸菌 Th221 株」にメカブから抽出した抗ウイルス作用、抗腫瘍作用などさまざまな生理活性を有する酸性多糖類「メカブフコイダン」を加えることにより、免疫調整作用が増強されることを細胞試験、および動物実験にて確認した。同研究は、マウス由来のマクロファージ細胞を用い、アレルギー症状の抑制に関するインターロイキン 12(IL-12)の産出誘導作用を測定、マクロファージを「メカブフコイダン」のみ刺激した時には、IL-12 産出は微弱であるのに対し、「Th221 株」と「メカブフコイダン」を同時に添加したときには、IL-12 産出が増強された。また、アレルギーモデルマウスを用いた動物試験により、アレルギー症状の改善効果を調べた。その結果、「Th221 株」と「メカブフコイダン」を両方摂取した群において、アレルギー症状改善の指標といわれている Th1/Th2 バランスが最も改善された。同研究結果は、5月22日の日本栄養、食糧学会大会で発表される。

(2009年5月20日 キッコーマン株式会社 プレスリリース)